A17 利活用へ向けた歴史的建造物の適正評価

工学部・建築学科・准教授・清水　隆宏
t-shimizu@aitech.ac.jp

キーワード　歴史的建造物の保存、町並み、建造物調査、文化財、歴史・文化

概要

近年、国や都道府県などにおいて歴史を活かしたまちづくり、歴史的建造物の観光資源化などが考えられることが増加している。しかしながら、各地域において建築の歴史的・文化的価値が理解されずに埋もれていることや、そういった価値を所有者などが認識・選別できない場合も多い。

本技術シーズでは、特定の歴史的建造物やある地域における建築群について、（基本的には保存・利活用を前提として）特性を把握することを目的とした、状況に応じた実測調査など各種調査を行います。その後、専門知識を活用し意匠的特質や設計手法などを分析することで、歴史的建造物としての価値を明確にし、所有者や関係者で歴史的建造物の適正な評価を共有することで、今後の保存・修復や活用に役立てます。

セールスポイント

1．歴史的建造物の実測調査を行います。
2．古典建築書（大工技術書）、建築に関連した郷土資料等の解読を行います。

企業等での活用例、今後の展望等

1．自治体・地域・所有者など各者からの依頼に基づき、歴史的建造物や歴史ある町並みの現状調査・図面作成、修理・保存へのアドバイスを行います。
2．登録文化財への登録について、歴史的建造物の利活用へのプログラム作りと設計提案などの補助を行います。
3．建築を通した地域の魅力ある歴史・文化教育など、幅広い要望に対応します。

SDGs、ゼロカーボンへの寄与

建築文化や地域文化の継承に寄与し、文化多様性と文化の持続可能な開発の促進に貢献します。（SDGs目標　4.7）